

電報送達紙の系譜

History of telegram delivery form

1860

1870

1880

1890

1900

1910

1920

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

2030

1871
6月 外国との電報送受を開始

1869
9月 東京・横浜で電信線仮設工事に着手
12月 東京・横浜で電報取り扱い開始



1908
5月 銚子無線局にて船舶用無線
電報取り扱い開始



1922
電報にタイプライター使用開始

1923
夜間配達電報、遅延
承知電報の制度開始



1930
8月 東京ー大阪間で
写真電報取扱開始

1934
12月 年賀電報取り扱い開始

1936
12月 慶弔電報取り扱い開始



1952
8月 日本電信電話公社が発足

1954
3月 最初の電報中継機械化実施
(水戸電報局)

1957
1月 南極昭和基地との電報
による無線電信開始



1963
年度別電報取り扱い通数
ピーク(9,461万通数)

1966
7月 全国電報中継
機械化完了



1985
4月 日本電信電話株式会社発足
4月 メロディ電報販売開始

1986
1月 フラワー電報
販売開始
4月 おし花電報
販売開始

1987
2月 横書き電報
サービス開始
12月 刺しゅう電報
販売開始



1992
1月 うるし電報販売開始

1993
新電報そ通システム
(TIXAS-II)更改

1994
2月 漢字電報
サービス開始

1996
3月 PC直接発信開始

1997
5月 インターネットによる電報
申し込み(D-MAIL)
サービス開始

1998
2月 キャラクター電報
(ハローキティエンジェル)
販売開始電報そ通システム
(DREAMS)更改

1999
東日本電信電話株式会社、
西日本電信電話株式会社発足



2000
12月 七宝電報販売開始

2005
9月 プリザーブドフラワー
DENPO販売開始



2013
6月 緑香電報販売開始

2014
12月 カタログギフト電報販売開始



2022
10月 制度見直し
(当日配達受付時間を午後7時→午後8時に変更)^{+図1}

2023
1月 制度見直し
(文字数単位料金からページ単位料金へ変更)^{+図2}

2022
12月 ギフト電報販売開始



1988
9月 ひらがな電報サービス開始

1994
2月 漢字電報サービス開始

+図1

電報サービス	電報料金	配達料金
通常電報	1通につき基本料金(25文字) 300円	1通につき基本料金(25文字) 300円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円

+図2

電報サービス	電報料金	配達料金
通常電報	1通につき基本料金(25文字) 300円	1通につき基本料金(25文字) 300円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円
漢字電報	1通につき基本料金(25文字) 400円	1通につき基本料金(25文字) 400円